

## 日医工MPI行政情報

<http://www.nichiiko.co.jp/stu-ge/>

### 病床機能報告制度とは

株式会社日医工医業経営研究所(日医工MPI)  
(公社)日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美



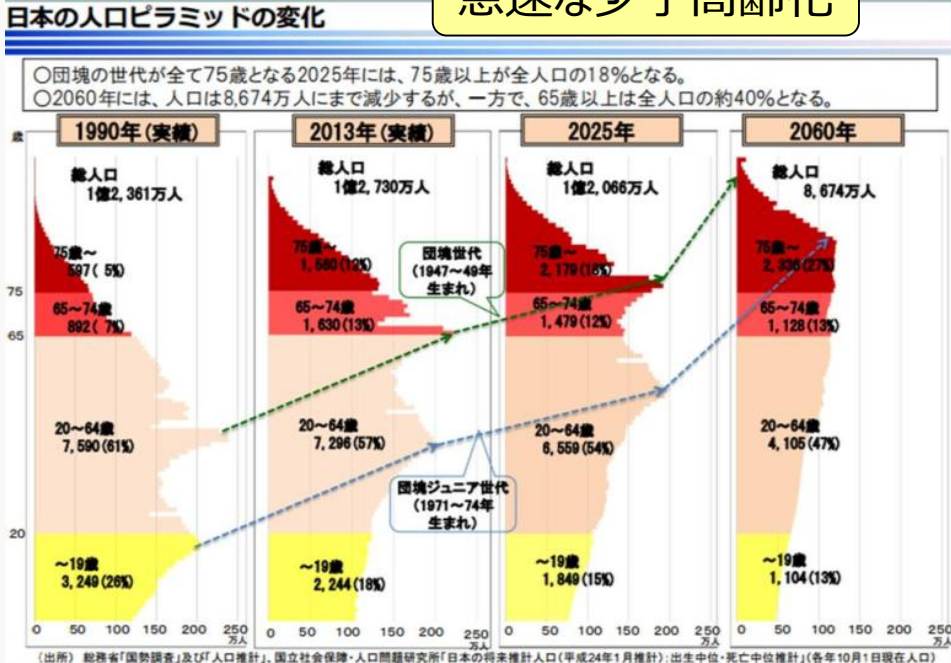
『病床機能情報の報告・提供の  
具体的なあり方に関する検討会』  
議論の整理（2014年7月29日  
公開）等を基に作成しています。

資料No.20140813-365

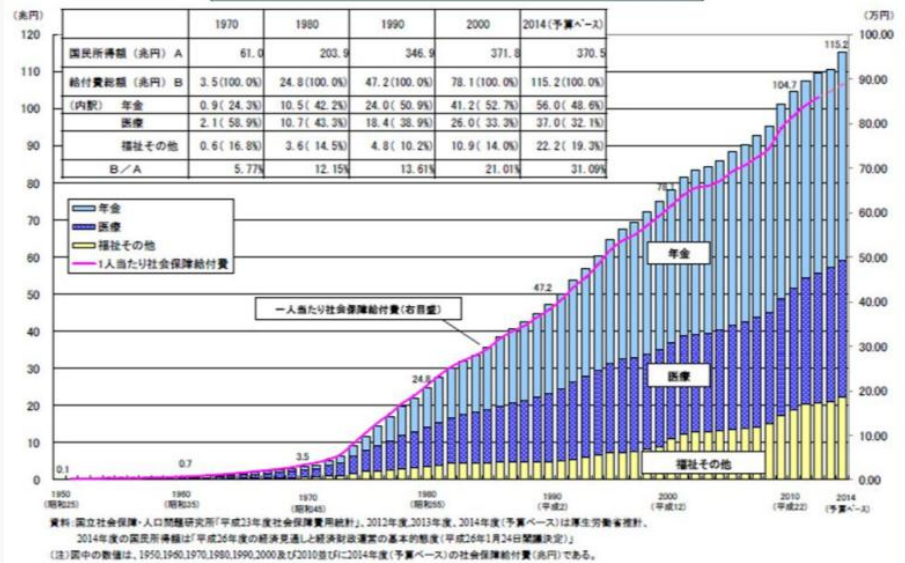
株式会社日医工医業経営研究所

背景

急速な少子高齢化



社会保障費増



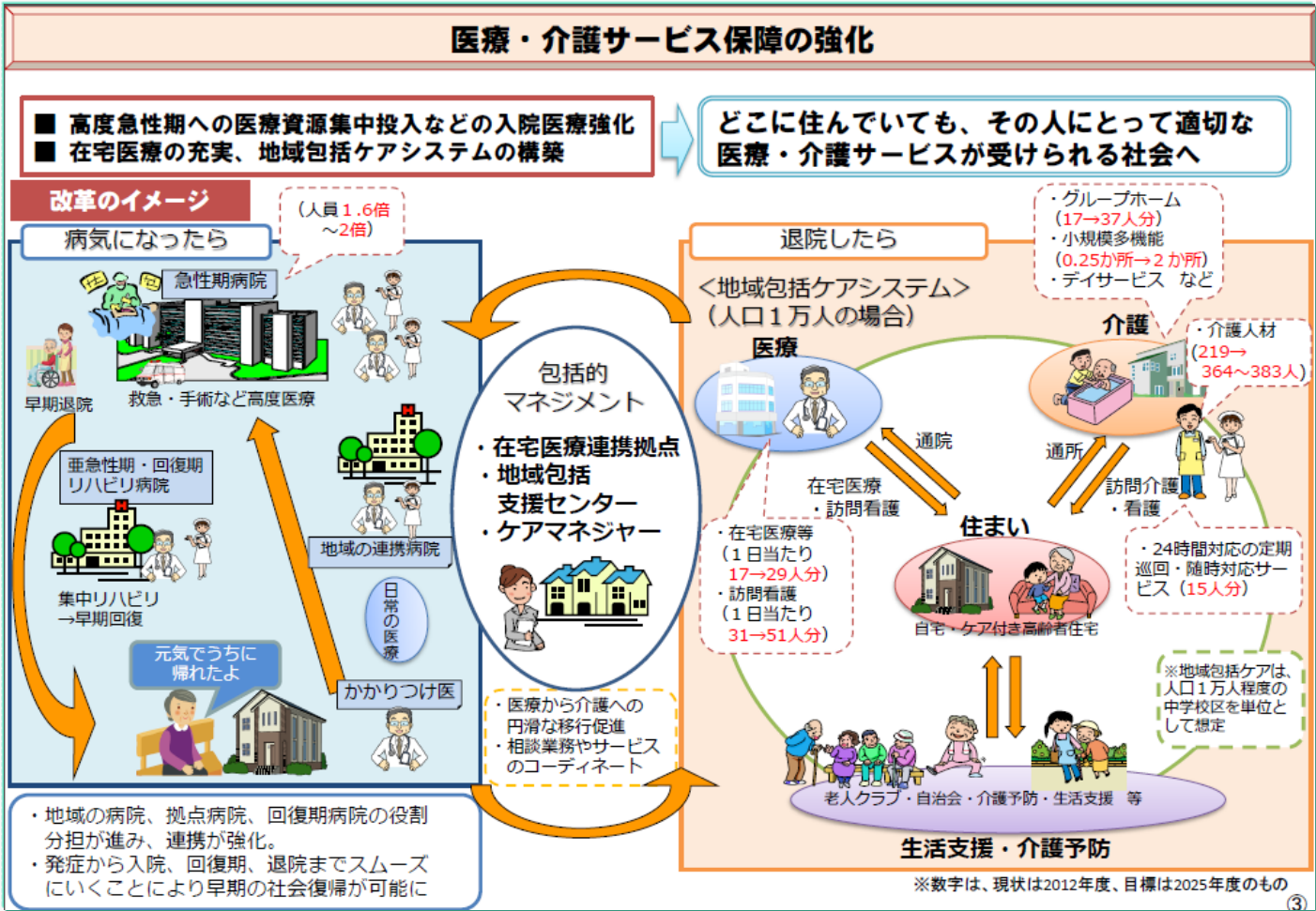
地域医療の困窮



少子高齢化が進む中、社会保障費は年々増加し、このままでは安定した社会保障が継続できないことが予想されている。

# 対策

すべての世代が安心感と納得感の得られる、「全世代型」の社会保障制度に転換を図り、社会保障の充実・安定化と、そのための安定財源確保と財政健全化の同時達成を目指すための制度改革として『社会保障と税の一体改革』を行うこととした。



# 医療提供体制の改革（社保審医療部会意見）

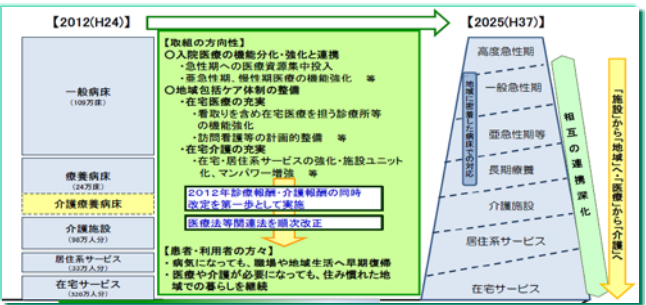
## 【基本的な考え方】

限りある医療資源の中で、現在抱えている様々な課題に取り組みつつ、医療を取り巻く環境の変化に対応した、より効率的で質の高い医療提供体制の構築を目指す。

社会保障全体の議論する社会保障審議会医療部会では、2013年12月27日に「医療法等改正に関する意見」を取りまとめた。

## 【具体的な内容 8 項目】

### 医療機能の分化・連携及び地域包括ケアシステムの構築に資する在宅医療の推進について



### チーム医療の推進



医療法人に関する制度の見直し

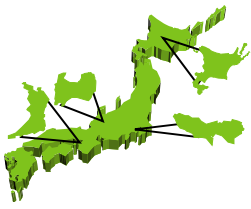
新たな財政支援の仕組みの創設

医療事故に係る調査の仕組み

臨床研究の推進

その他の改正事項

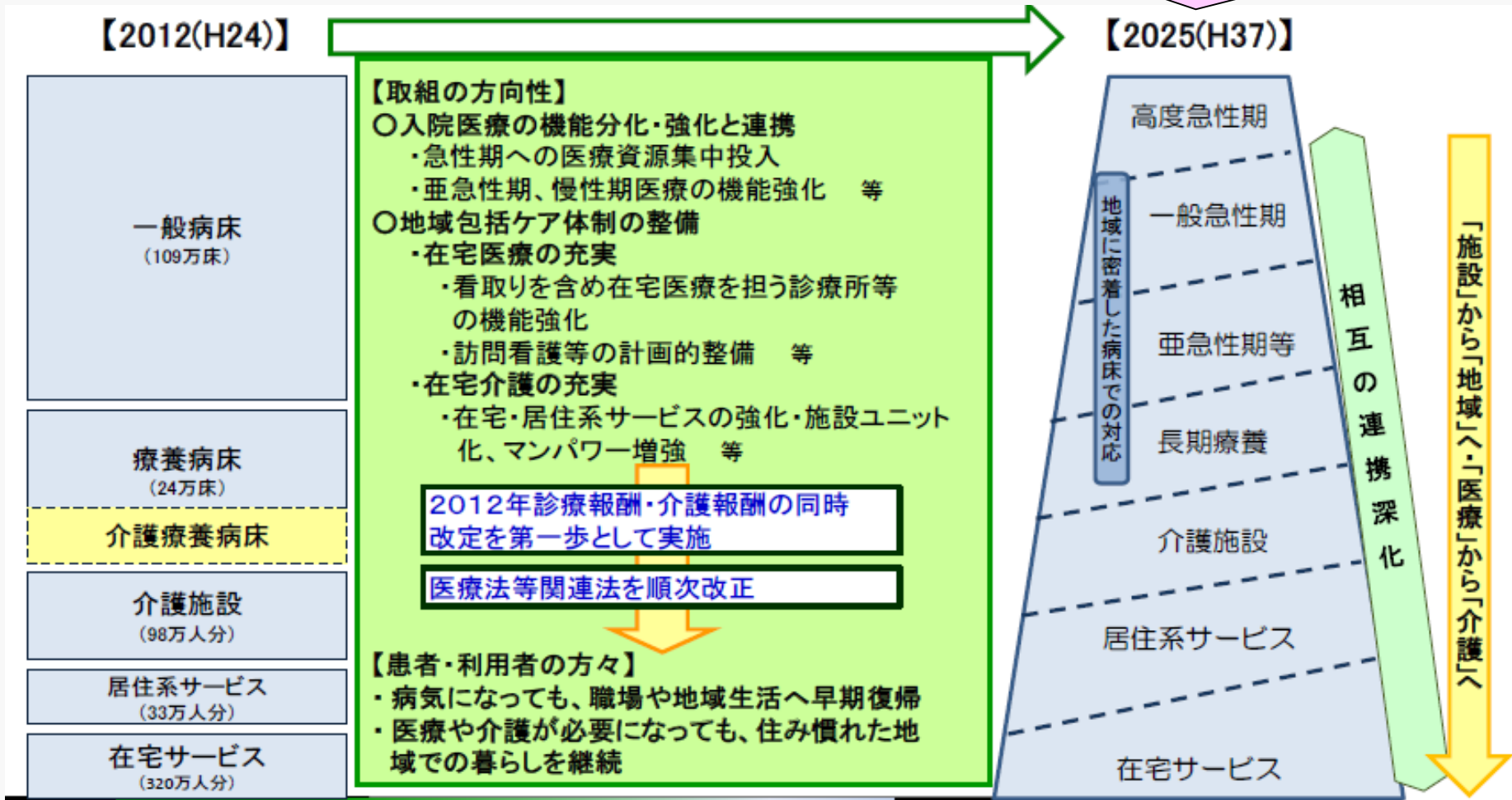
### 地域の実情に応じた医師・看護師等の確保対策





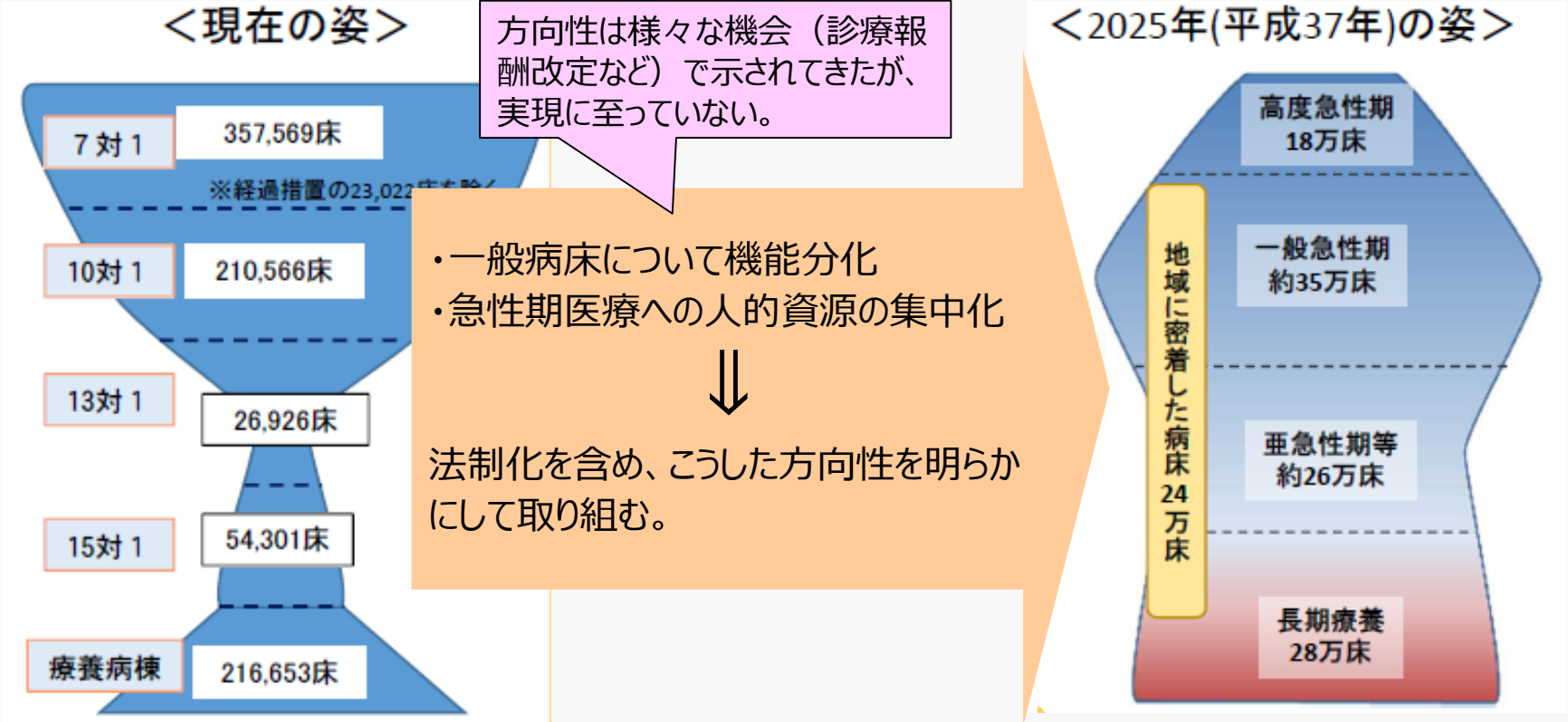
# 一般病床の機能分化

社会保障と税の一体改革では現在の一般病床と療養病床について「高度急性期」「一般急性期」「亜急性期等」「長期療養」に区分する方向性が示されている。



第1回病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会（平成24年11月16日）資料より抜粋

# 病院・病床の機能の明確化・強化



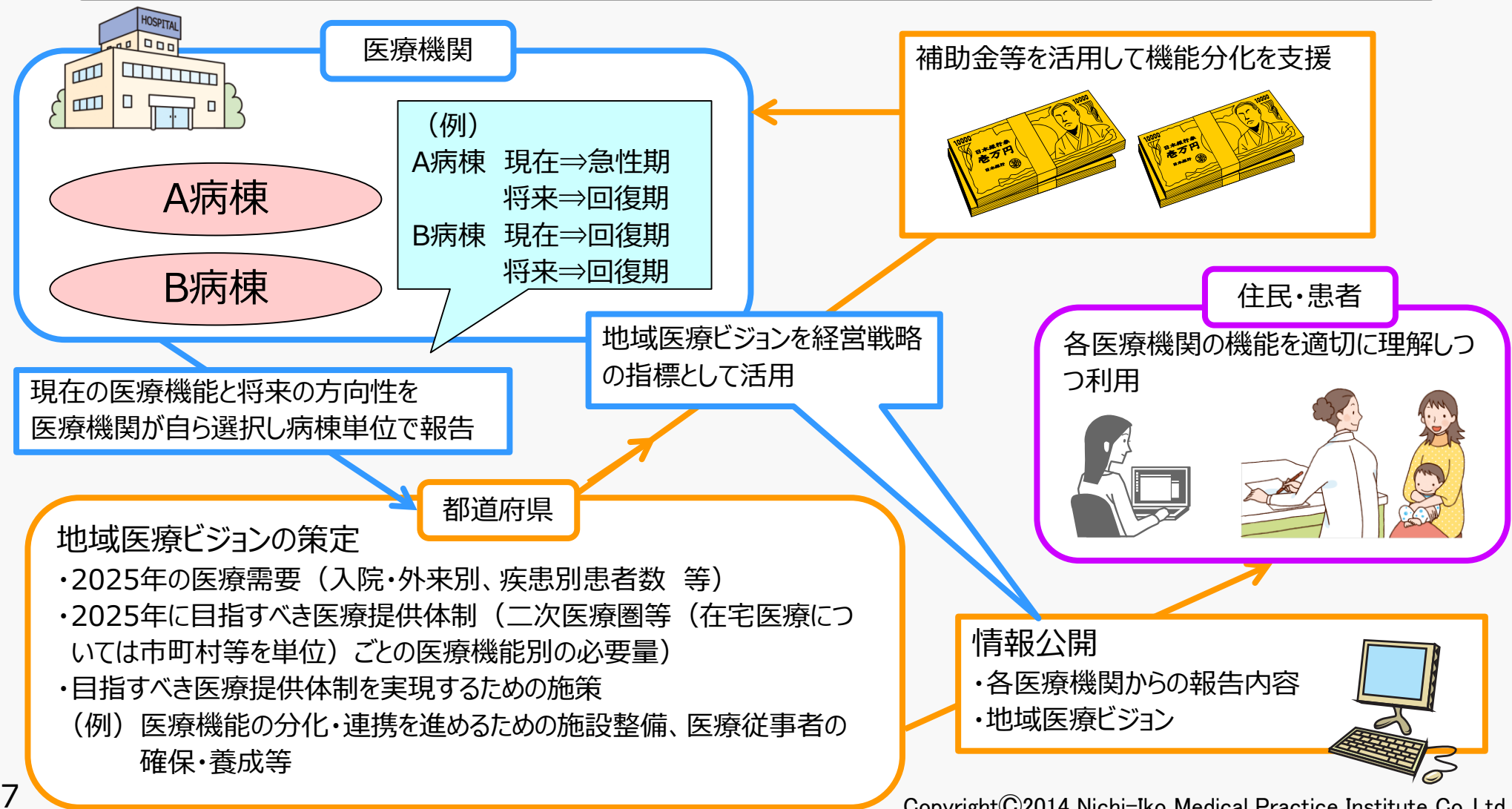
平成26年度診療報酬改定の概要（平成26年3月19日版）より抜粋

- 機能分化の推進に当たっては、**病床の機能の見える化**が重要
- 病床区分のあり方を検討するに当たっては、**地域に必要な医療機能とは何かという観点からの検討**が必要

**病床機能報告制度**

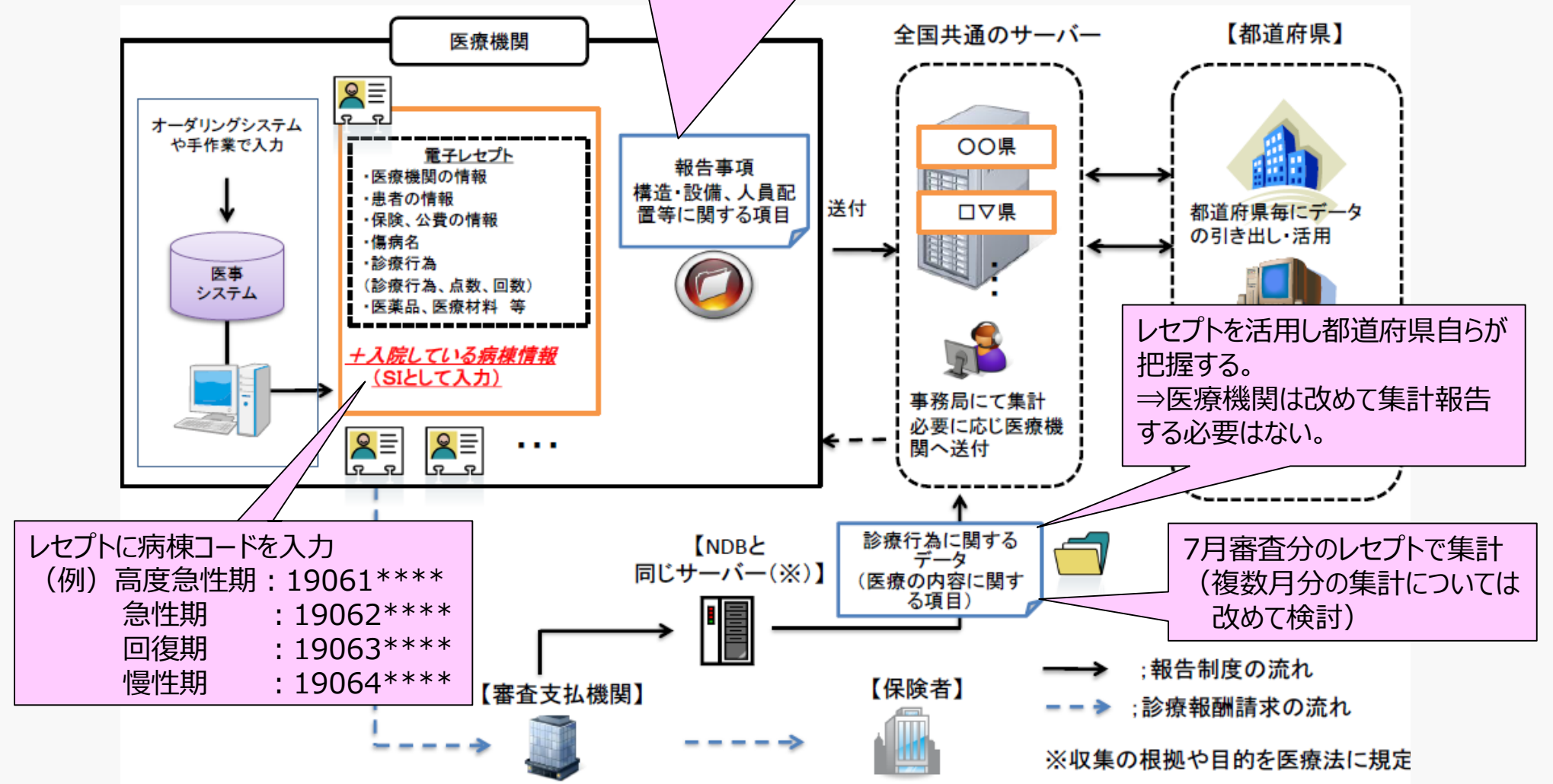
# 病床機能報告制度とは

- 医療機関が担っている医療機能（病棟単位）を都道府県に報告する仕組み
- 都道府県は情報を活用し、医療計画において、その地域にふさわしい地域医療のビジョンを策定



# 報告方法

平成26年度は10月1日～10月末日までに報告



病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会 議論の整理 (2014年7月29日) より



# 報告内容

各医療機関（有床診療所を含む。）は**病棟単位**で、以下の医療機能について「**現状**」と「**今後の方向**」を都道府県に報告する。

平成37年度（2025年度）の予定は任意で報告

7月1日時点の病棟機能

**6年**が経過した日における病床の機能の予定  
・平成26年度報告⇒平成32年の予定  
・平成27年度報告⇒平成33年の予定

6年以内に変更の予定がある場合には、変更を予定している時点（目途）も報告

病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会  
議論の整理（2014年7月29日）より

現段階では判断基準として具体的な数値等を示すことが困難なため、定性的な基準を参考に選択

| 医療機能の名称 | 医療機能の内容                                                                                                                             |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高度急性期機能 | ○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能                                                                                          |
| 急性期機能   | ○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能                                                                                                   |
| 回復期機能   | ○急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。<br>○特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能） |
| 慢性期機能   | ○長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能<br>○長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能                                               |

報告項目【構造設備・人員配置等に関する項目①】

| 具体的な項目<br>(下線は有床診療所報告事項)         | 病棟単位 |      | 病院<br>単位 | 項目については平成27年度以降、<br>必要に応じ、追加等を行う。 | 備考                                  |
|----------------------------------|------|------|----------|-----------------------------------|-------------------------------------|
|                                  |      | レセプト |          |                                   |                                     |
| ○現在の機能、将来時点の機能の予定                |      |      |          |                                   |                                     |
| 現在の機能、将来時点の機能の予定                 | ○    |      |          |                                   |                                     |
| ○病床数・人員配置・機器など                   |      |      |          |                                   |                                     |
| 許可病床数（療養病床の場合そのうち介護療養病床の数）       | ○    |      |          |                                   |                                     |
| 稼働病床数（療養病床の場合そのうち介護療養病床の数）       | ○    |      |          |                                   |                                     |
| 一般病床、療養病床の別                      | ○    |      |          |                                   |                                     |
| 医療法上の経過措置に該当する病床数                | ○    |      |          |                                   |                                     |
| 看護師数、准看護師数、看護補助者数、助産師数           | ○    |      | ○        |                                   | 傾斜配置も含め病棟毎の配置を記載する。また、外来、手術室も別途記載する |
| 理学療法士数、作業療法士数、言語聴覚士数、薬剤師数、臨床工学技士 | ○    |      | ○        |                                   | 病棟単位も記載する                           |
| 主とする診療科                          | ○    |      |          |                                   | 一つの病棟を複数の診療科で活用することを基本とする場合の選択肢を設ける |
| 算定する入院基本料・特定入院料                  | ○    | (○)  |          |                                   |                                     |
| DPC群                             |      |      | ○        |                                   |                                     |

レセプト情報の活用

有床診は下線項目以外の報告は任意

報告項目【構造設備・人員配置等に関する項目②】

| 具体的な項目<br>(下線は有床診療所報告事項)             | 病棟単位 | 病院<br>単位 | 備考                            |
|--------------------------------------|------|----------|-------------------------------|
|                                      | レセプト |          |                               |
| 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、在宅療養後方支援病院の届出の有無  |      | ○        |                               |
| 上記届出を行っている場合、医療機関以外での看取り数、医療機関での看取り数 |      | ○        | 介護老人保健施設等の入所施設は医療機関以外に含む      |
| 二次救急医療施設、救急告示病院の有無                   |      | ○        |                               |
| 64列以上のCT                             |      | ○        |                               |
| 16列以上64列未満のCT                        |      | ○        |                               |
| 16列未満のCT                             |      | ○        |                               |
| 3T以上のMRI                             |      | ○        |                               |
| 1.5T以上3T未満のMRI                       |      | ○        |                               |
| 1.5T未満のMRI                           |      | ○        |                               |
| 血管連続撮影装置                             |      | ○        | デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィー法を行う装置 |
| SPECT                                |      | ○        |                               |
| PET                                  |      | ○        | PETCT・PETMRIを含む               |
| 強度変調放射線治療器                           |      | ○        |                               |
| 遠隔操作式密封小線源治療装置                       |      | ○        |                               |
| 退院調整部門の設置                            |      | ○        |                               |
| 退院調整部門に勤務する人数                        |      | ○        |                               |

報告項目【構造設備・人員配置等に関する項目③】

| 具体的な項目<br>(下線は有床診療所報告事項) | 病棟単位 |      | 病院<br>単位 | 備考                                                                                                                          |
|--------------------------|------|------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          |      | レセプト |          |                                                                                                                             |
| ○入院患者の状況                 |      |      |          |                                                                                                                             |
| 新規入棟患者数                  | ○    |      |          |                                                                                                                             |
| 在棟患者延べ数                  | ○    |      |          |                                                                                                                             |
| 退棟患者数                    | ○    |      |          |                                                                                                                             |
| 入棟前の場所別患者数               | ○    |      |          | ①～⑥毎に人数を記載する<br>①院内の他病棟からの転棟<br>②家庭からの入院<br>③他の病院、診療所からの転院、<br>④介護施設・福祉施設に入所中<br>⑤院内の出生<br>⑥その他                             |
| 予定入院及び緊急入院の患者数           | ○    |      |          |                                                                                                                             |
| 退棟先の場所別患者数               | ○    |      |          | ①～⑧毎に人数を記載する<br>①院内の他病棟への転棟<br>②家庭への退院<br>③他の病院、診療所への転院<br>④介護老人保健施設に入所<br>⑤介護老人福祉施設に入所<br>⑥社会福祉施設に入所<br>⑦終了（死亡を含む）<br>⑧その他 |
| 退院後に在宅医療を必要とする患者数        | ○    |      |          | 他施設から提供される場合も含む                                                                                                             |



報告項目【具体的な医療の内容に関する項目①】

| 具体的な項目               | 病棟単位 |      | 病院<br>単位 | 今年度は病院単位で報告<br>(平成27年度以降は病棟単位)                                             | 備考 |
|----------------------|------|------|----------|----------------------------------------------------------------------------|----|
|                      |      | レセプト |          |                                                                            |    |
| ○幅広い手術の実施            |      |      |          |                                                                            |    |
| 手術総数（臓器別を含む）         |      | ○    |          | 手術のうち輸血管理料を除く。また外保連試案を活用し、難易度別の分析を行う                                       |    |
| 全身麻酔の手術件数（臓器別を含む）    |      | ○    |          | 麻酔のうちL007開放点滴式全身麻酔又はL008マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔と手術（輸血管理料を除く）を同時に算定しているものとする |    |
| 胸腔鏡下手術件数             |      | ○    |          | 術式に“胸腔鏡下”が含まれる手術とする                                                        |    |
| 腹腔鏡下手術件数             |      | ○    |          | 術式に“腹腔鏡下”が含まれる手術とする                                                        |    |
| 内視鏡手術用支援機器加算（K939-4） |      | ○    |          |                                                                            |    |
| ○がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療    |      |      |          |                                                                            |    |
| 悪性腫瘍手術件数             |      | ○    |          | 術式に“悪性腫瘍”が含まれる手術とする                                                        |    |
| 病理組織標本作製             |      | ○    |          |                                                                            |    |
| 術中迅速病理組織標本作製         |      | ○    |          |                                                                            |    |
| 放射線治療件数              |      | ○    |          | 放射線治療のうち血液照射を除く                                                            |    |
| 化学療法件数               |      | ○    |          | 薬効分類における腫瘍用薬を用いている件数とする                                                    |    |
| がん患者指導管理料 1 及び 2     |      | ○    |          |                                                                            |    |
| 抗悪性腫瘍剤局所持続注入         |      | ○    |          |                                                                            |    |

報告項目【具体的な医療の内容に関する項目②】

| 具体的な項目               | 病棟単位 |      | 病院単位 | 備考      |
|----------------------|------|------|------|---------|
|                      |      | レセプト |      |         |
| 肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入 |      | ○    |      |         |
| 分娩件数                 | ○    |      |      | 正常分娩を含む |
| 超急性期脳卒中加算            |      | ○    |      |         |
| 脳血管内手術               |      | ○    |      |         |
| 経皮的冠動脈形成術            |      | ○    |      |         |
| 入院精神療法（Ⅰ）            |      | ○    |      |         |
| 精神科リエゾンチーム加算         |      | ○    |      |         |
| ○重症患者への対応            |      |      |      |         |
| ハイリスク分娩管理加算          |      | ○    |      |         |
| ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）     |      | ○    |      |         |
| 救急搬送診療料              |      | ○    |      |         |
| 観血的肺動脈圧測定            |      | ○    |      |         |
| 持続緩徐式血液濾過            |      | ○    |      |         |
| 大動脈バルーンパンピング法        |      | ○    |      |         |
| 経皮的心肺補助法（K602）       |      | ○    |      |         |
| 補助人工心臓・植込型補助人工心臓     |      | ○    |      |         |

報告項目【具体的な医療の内容に関する項目③】

| 具体的な項目                     | 病棟単位 |      | 病院<br>単位 | 備考                                                                                           |
|----------------------------|------|------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
|                            |      | レセプト |          |                                                                                              |
| 頭蓋内圧測定 1 日につき              |      | ○    |          |                                                                                              |
| 人工心肺                       |      | ○    |          |                                                                                              |
| 血漿交換療法                     |      | ○    |          |                                                                                              |
| 吸着式血液浄化法                   |      | ○    |          |                                                                                              |
| 血球成分除去療法                   |      | ○    |          |                                                                                              |
| 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合 | ○    |      |          | A 得点が 2 点以上の割合、B 得点が 3 点以上の割合もそれぞれ記載する。当該病棟で算定している入院基本料等において、必要度の測定を必須としていない場合は報告しなくて差し支えない。 |
| ○救急医療の実施                   |      |      |          |                                                                                              |
| 院内トリアージ実施料                 |      | ○    |          |                                                                                              |
| 夜間休日救急搬送医学管理料              |      | ○    |          |                                                                                              |
| 精神科疾患患者等受入加算               |      | ○    |          |                                                                                              |
| 救急医療管理加算 1 及び 2            |      | ○    |          |                                                                                              |
| 在宅患者緊急入院診療加算               |      | ○    |          |                                                                                              |
| 救急搬送患者地域連携紹介加算             |      | ○    |          |                                                                                              |
| 地域連携診療計画管理料                |      | ○    |          |                                                                                              |
| 救命のための気管内挿管                |      | ○    |          |                                                                                              |

報告項目【具体的な医療の内容に関する項目④】

| 具体的な項目                | 病棟単位 |      | 病院単位 | 備考                                                                                     |
|-----------------------|------|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------|
|                       |      | レセプト |      |                                                                                        |
| 体表面ペーシング法又は食道ペーシング法   |      | ○    |      |                                                                                        |
| 非開胸的心マッサージ            |      | ○    |      |                                                                                        |
| カウンターショック             |      | ○    |      |                                                                                        |
| 心膜穿刺                  |      | ○    |      |                                                                                        |
| 食道圧迫止血チューブ挿入法         |      | ○    |      |                                                                                        |
| 休日又は夜間に受診した患者の数       |      |      | ○    | 休日：日曜日及び国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日、1月2日及び3日並びに12月29日、30日及び31日夜間：午後6時から翌日の午前8時（土曜日の場合は、正午以降） |
| 上記のうち診察後、直ちに入院となった患者数 |      |      | ○    |                                                                                        |
| 救急車の受入件数              |      |      | ○    |                                                                                        |
| ○急性期後の支援・在宅復帰への支援     |      |      |      |                                                                                        |
| 退院調整加算1               |      | ○    |      |                                                                                        |
| 退院調整加算2               |      | ○    |      |                                                                                        |
| 救急・在宅等支援（療養）病床初期加算    |      | ○    |      |                                                                                        |
| 救急搬送患者地域連携受入加算        |      | ○    |      |                                                                                        |
| 地域連携診療計画退院時指導料Ⅰ       |      | ○    |      |                                                                                        |

報告項目【具体的な医療の内容に関する項目⑤】

| 具体的な項目                          | 病棟単位 |      | 病院単位 | 備考                                           |
|---------------------------------|------|------|------|----------------------------------------------|
|                                 |      | レセプト |      |                                              |
| 退院時共同指導料 2                      |      | ○    |      |                                              |
| 介護支援連携指導料                       |      | ○    |      |                                              |
| 退院時リハビリテーション指導料                 |      | ○    |      |                                              |
| 退院前訪問指導料                        |      | ○    |      |                                              |
| ○全身管理                           |      |      |      |                                              |
| 中心静脈注射                          |      | ○    |      |                                              |
| 呼吸心拍監視                          |      | ○    |      |                                              |
| 酸素吸入                            |      | ○    |      |                                              |
| 観血的動脈圧測定 1日につき                  |      | ○    |      |                                              |
| ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄                |      | ○    |      |                                              |
| 人工呼吸 1日につき                      |      | ○    |      |                                              |
| 人工腎臓、腹膜灌流                       |      | ○    |      |                                              |
| 経管栄養カテテル交換法                     |      | ○    |      |                                              |
| ○疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーション |      |      |      |                                              |
| 疾患別リハビリテーション料                   |      | ○    |      | 心大血管、脳血管疾患等、運動器、呼吸器、難病患者、障害児（者）、がん患者、認知症患者の別 |
| 早期リハビリテーション加算                   |      | ○    |      |                                              |



報告項目【具体的な医療の内容に関する項目⑥】

| 具体的な項目                                                                                                   | 病棟単位 |      | 病院単位 | 備考 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|----|
|                                                                                                          |      | レセプト |      |    |
| 初期加算                                                                                                     |      | ○    |      |    |
| 摂食機能療法                                                                                                   |      | ○    |      |    |
| リハビリテーション充実加算                                                                                            |      | ○    |      |    |
| 体制強化加算                                                                                                   |      | ○    |      |    |
| 休日リハビリテーション提供体制加算                                                                                        |      | ○    |      |    |
| 入院時訪問指導加算                                                                                                |      | ○    |      |    |
| リハを要する状態にある患者の割合                                                                                         | ○    |      |      |    |
| 平均リハ単位数／患者・日                                                                                             | ○    |      |      |    |
| 1年間の総退院患者数                                                                                               | ○    |      |      |    |
| 上記のうち、入棟時の日常生活機能評価が10点以上であった患者数                                                                          | ○    |      |      |    |
| 上記のうち、退棟時（転棟時を含む。）の日常生活機能評価が、入院時に比較して4点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料2または3の場合には3点以上）改善していた患者数（日常生活機能評価（ADL）の改善の程度） | ○    |      |      |    |

報告項目【具体的な医療の内容に関する項目⑦】

| 具体的な項目                           | 病棟単位 |      | 病院<br>単位 | 備考 |
|----------------------------------|------|------|----------|----|
|                                  |      | レセプト |          |    |
| ○長期療養患者の受入れ                      |      |      |          |    |
| 療養病棟入院基本料 1・2（A～I）               |      | ○    |          |    |
| 褥瘡評価実施加算                         |      | ○    |          |    |
| 重度褥瘡処置                           |      | ○    |          |    |
| 重傷皮膚潰瘍管理加算                       |      | ○    |          |    |
| ○重度の障害者等の受入れ                     |      |      |          |    |
| 難病等特別入院診療加算                      |      | ○    |          |    |
| 特殊疾患入院施設管理加算                     |      | ○    |          |    |
| 超重症児（者）入院診療加算・準超重症<br>児（者）入院診療加算 |      | ○    |          |    |
| 強度行動障害入院医療管理加算                   |      | ○    |          |    |
| （再掲）難病患者リハ、障害児（者）リハ              |      | ○    |          |    |

